



進路だより

平成31年4月19日（金） NO.6 進路係 大橋 達史

「進路だより」NO.6では、前期選抜・中期選抜・後期選抜の中の、中期選抜と後期選抜について説明します。（昨年度の入試のものです。）

中期選抜（3月上旬実施予定）

- 共通学力検査（国・社・数・理・英） ※各教科40点満点×5教科=200点満点
- 報告書及び学力検査の成績を総合的に判断し、合格者を決定します。
※報告書：3年分の9教科の評定で、195点満点（実技4教科の評定は2倍にする）
- 第1志望内で、順位をつけて2校または2学科まで志願できます。（第1順位、第2順位）
- 第2志望も記入することができます。第2志望がいかされるのは、第1志望優先で合格者を決めた後、なおその学科に欠員がある場合だけです。
- 募集する学科は、前期選抜で募集割合を100%としていないすべての学科です。
- 募集人数は、募集定員から前期選抜の募集人数を除いた人数です。

●選抜方法

例) A高校⇒普通科で募集定員100名（例えば）とします。

前期選抜：募集定員の30%募集（30名が合格決定！）

中期は志望校を3つ書ける！

- ①第1志望 第1順位
- ②第1志望 第2順位
- ③第2志望

中期選抜：募集定員の70%募集（70名）の内、

STEP 1 ⇒ 第1順位でA高校を希望している生徒が対象となり、

募集人数の90%を合格者とする。（上から63名は合格決定）

STEP 2 ⇒ 第1順位で合格範囲外の生徒と、他校の第1順位の選抜で合格範囲にならなかった生徒のうち第2順位でA高校を希望している生徒を混ぜて、その中から合否判定する。（残り7名の合格が決まる）



※第2順位は、人数も少ないし、レベルもアップするので、選択する学校によっては、なかなか合格にいたりません。

たとえば、第1順位：山城、第2順位：洛北では、実際はむずかしいです。

※第1志望で不合格となった時は、第2志望へまわります。

ただし、欠員がある時のみ合格になります。

後期選抜（3月下旬実施予定）

- 前期選抜及び中期選抜を実施したあと、なお相当数の欠員が生じた高校（学科）において実施。
- 後期選抜実施校は、中期選抜の合格者の発表と同時に発表します。
- 選抜方法は、共通学力検査（国・数・英）の成績及び面接の結果を総合的に判断し、合格者を決定します。